



社会福祉

法人

豊中市社会福祉協議会

ボランティアセンターだより

第53号

2011年(平成23年)3月31日

発行 社会福祉法人 豊中市社会福祉協議会

ボランティアセンターだより編集委員会

〒560-0023 豊中市岡上の町 2-1-15

Tel (6848)1000 FAX (6848)1005

URL: <http://www3.ocn.ne.jp/~tcpvc>E-mail: tcpvc@gold.ocn.ne.jp

ボランティアグループ
あれこれ

運転ボランティアグループ

「豊中アッシー」 編

一緒に活動しませんか？



お待ちしております！！

感謝状

祝！厚生労働大臣表彰

豊中市協賛ボランティアグループ
「豊中アッシー」殿
貴グループ・団体はボランティア
活動の発展を通じて共に支えあう
地域社会づくりに貢献されその
功績は誠に顕著なものであります
よってここに感謝の意を表します
平成二十二年九月二十五日
厚生労働大臣 細川律夫

豊中アッシーは平成4年より市社協登録ボランティアグループとして、車イスを利用している障害者や高齢者の方々を対象に、送迎ボランティア活動を行ってきました。

グループ化する前の平成3年から、大阪府内初となるリフト付自動車による送迎を先駆的に行ってきたという実績もあり、この度の厚生労働大臣表彰に至りました。

一人でも多くの利用者に、気持ちよく外出して頂けるよう、豊中アッシーのメンバーも研修等を受講し、一人一人技術の向上に努めています。

現在の主な活動は、市社協が行う「ユウあい移送サービス事業」への協力です。リフト付自動車ユウあい号を使って、2人1組で利用者の自宅から目的地までの送迎を行います。初めての方もベテランのメンバーから学びながら活動していただけますので、運転のお好きな方、人と接することがお好きな方はぜひ定例会を見学にお越しください。

◎活動に興味のある方は・・・

☆定例会

第3木曜日 10時00分～11時30分

ボランティアセンター「ぷらっと」

☆お問い合わせ

豊中市社会福祉協議会 ボランティアセンター「ぷらっと」

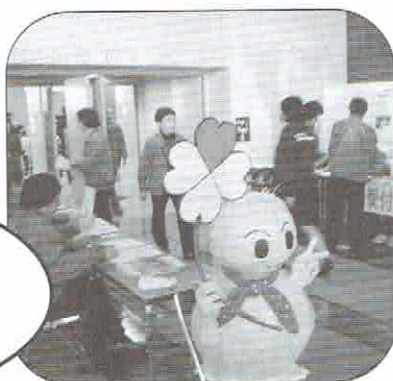
豊中市岡上の町2-1-15(豊中市すこやかプラザ2階)

☎ 06-6848-1000



豊中ボランティアフェスティバル

受付では
ボランちゃんがお出迎え♡



12月4日(土)、豊中市立市民会館にて上記のイベントを開催し、約250名のみなさまにご来場頂きました。市民会館では久々の実施となりましたが、当日は市社協60周年記念大会も午後から大ホールで行い、引き続きたくさんの方がご参加下さいました。



ステージのオープニングは市社協ボランティア団体連絡会の各グループによるのぼりの入場で飾って頂きました。グループそれぞれが個性の光る楽しいのぼりを披露してくださいました。参加者のみなさんにはたくさんのボランティアグループが様々な活動をされていることを改めて知っていただく機会となり、ボランティアの大きな力を感じました。

グッズコーナー



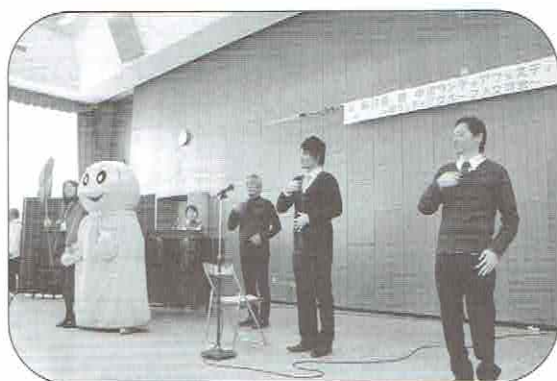
市社協ボランティア団体連絡会のPRグッズや市社協の活動をまとめた本『社協の醍醐味』のコーナーを設けました。黄色いバンダナが目を引き、参加者も足を止めて見て下さっていました。

※P. 4に関連記事



オープニングに続いての「歌声広場」では、会場中が一体となって歌声を響かせました。伴奏とリードボーカルを「ぐるーぷ・いま」のみなさんにご協力頂き、時には身体も動かしながら大いに楽しい時間となりました。

「青い山脈」「上を向いて歩こう」「涙そうそう」など、約1時間のステージでしたが、最後までみなさん力強く歌われていました。



ステージの締めくくりは、恒例となりました手話サークルによる「ボランちゃんの歌」の手話歌。今年度は手話サークルトマトのメンバーが出演してくださいました。

障害者通所授産施設等の即売コーナーもステージと同じフロアで盛況でした。作業所など6団体にご協力頂き、昼食用にパンやおにぎりが大人気でした。



ステージ終了後は、昼食をとりながら参加者同士の交流も活発に行われ、会場内は和やかな雰囲気でした。

感謝状
贈呈



60周年記念大会の中で、長年ボランティア活動に貢献頂いたグループや個人の方に感謝状を贈呈しました。これからも多くの人の気持ちに支えられ、ボランティアの輪が広がっていくことと思います。

ボランちゃん ストラップ誕生

ボランティア団体連絡会では、PRを目的としたグッズの作製も取り組んでいます。以前はボランちゃん柄のバンダナを作り好評でしたが、今年度新たに携帯電話のストラップを作りました。昨年12月のボランティアフェスティバルで初めて販売しましたが、市社協窓口でも常時販売させて頂いております。1つ200円で、収益金の一部は「安心生活創造事業」に寄付されます。

携帯電話などに付けて頂くだけで、豊中市のボランティアイメージキャラクターであるボランちゃんがボランティアの風をみなさまに届けてくれることと思います。ぜひご協力をお願いします！

裏面はクリーナーになっています。液晶画面などをきれいに拭けて便利☆



《豊中市社協ボランティア団体連絡会 グループ一覧》

各ボランティア団体はそれぞれの特性を活かして、多くの分野で活発に活動されています。連絡会では情報提供や交流などを行い連携を図っています。★＝市社協登録グループ

愛の会	点字サークル つくしんぼ
「アクセス」★	「豊中アッシー」★
大阪北生協ボランティアグループ	「豊中いきいき歌体操グループさわやか」★
大阪北 YMCA	豊中市こども会連合会
大阪声のグループ	豊中市障害児（者）ボランティアグループ「ゆう」
ガールスカウト豊中地区協議会	NPO 法人 豊中市青少年野外活動協会
カトリック豊中おもちゃライブラリー	豊中手話サークル「あさなぎ」
「聴くの会」★	豊中地区 BBS 会
刀根山病院 草の実会	豊中点訳会
車いすダンス コスモスの会	豊中筆記通訳グループ「ダンボ」
NPO 法人 ゴールデンベル	豊能障害者登山実行委員会
手話サークル「さざなみ」	日本福音ルーテル豊中教会女性会
手話サークル「トマト」	ボーイスカウト豊中地区
手話サークル「ゆうなぎ」	NPO 法人 動物愛護市民団体「JCDL」
市立豊中病院ボランティアグループ	蛍池手話サークル「ジャンケンポン」
庄内手話サークル「虹」	まどか
「ステッキ」★	「みちしるべ」★
「ズームイン」★	友光会
「そよかぜ」★	ゆめ・ゆめクラブ
対面朗読サークル ヴォイス	大阪府高齢者大学校 同窓会 豊中
「小さな手」★	NPO 法人 NALC わかばの会 豊中
「つぼみ」★	SA とよなか（シルバーアドバイザー）
ツインズハート	豊中地区更生保護女性会

災害支援訓練



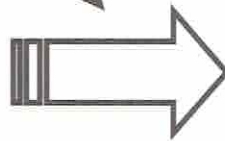
日頃の備えが
重要です…

市社協では、阪神・淡路大震災の教訓を活かし、緊急時における市民の協力体制の整備や震災の教訓を風化させないために、「市社協災害支援ネットワーク」と連携し、例年上記の訓練を実施しています。

今年度は、1月15日（土）に豊中市すこやかプラザを拠点に実施し、50名以上のボランティアの方々が参加してくださいました。



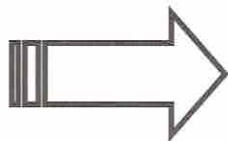
災害ボランティア
センターたちあげ



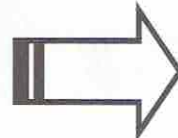
全員集合して、本日の訓練内容を確認。



災害ボランティア登録し、名札を作ります。名札には、氏名・資格・移動手段を記入し、見えやすいように貼ります。



名札が貼れたらニーズに分かれてグループを作ります。必要人数が集まればリーダーを決めて活動内容を確認し、各活動場所に移動します。



グループごとに訓練開始！写真は上から、非常食調理・消火訓練・ボランティア依頼の聴き取りを行っている様子です。その他にも様々な訓練をしました。



再度集合して、救命講習。三角布から包帯にする畳み方など勉強になりました。



最後は全員集合で訓練の振り返り。活動報告を発表して、実際の災害に活かせるよう気づきを共有しました。



地域福祉活動支援センター

地域福祉活動支援センターは2009年4月に市立老人デイサービスセンター（桜井谷・東豊中・原田・高川・庄本）内に、地域福祉活動を推進していくことを目的に設置されました。各センターでは、福祉なんでも相談窓口のバックアップ機能の強化、ボランティア講座や介護講座の開催など、ボランティア支援拠点として地域福祉の担い手づくりを応援しています。

《庄本地域福祉活動支援センター》

2月18日（金）ボランティアはじめま専科で、歌体操の講座を開催しました。市社協登録ボランティアグループの「いきいき歌体操グループ さわやか」のメンバーに講師となっていていただき、当日は約20名の参加がありました。

歌体操は、懐かしい童謡や唱歌、歌謡曲等を一緒に歌い、また曲に合わせて体操をするというものです。体操は、いすに座ったままでもできるので、どなたでも楽しめる介護予防体操になっています。



庄本での
はじめま専科



講座以外でも毎月定例会を行っていますので、歌って身体を動かして、身も心もスッキリしましょう。歌体操を共に楽しんでいただけて大歓迎です。

定例会は、毎月第2火曜日と第3水曜日に豊中市すこやかプラザ2階、また第1金曜日には桜井谷地域福祉活動支援センターでも行っています。ご見学だけでもぜひお越しください、お待ちしております。



← 定例会の様子

《服部地域福祉活動支援センター》

3月11日（金）中豊島福祉推進協議会の協力で、カフェタイムを実施しました。炒りたての豆の良い香りに誘われてたくさんの方においしいコーヒーを楽しんでいただきました。

当日は障害者福祉作業所の店「なかま」の出張店もあり、クッキーせんべいや手作りこんにゃくなどの販売も大人気でした。



ボランティア ステップアップ講座



今年度のボランティアステップアップ講座として、企業・団体ボランティアネットワークとよなかと合同で、2月10日（木）に西宮市鳴尾浜にある「阪神友愛食品株式会社」への視察・研修を行いました。当日は合わせて17名の参加があり、約2時間の研修内容でした。



阪神友愛食品(株)は多くの障害者を雇用されており、現在43名の従業員のうち、重度障害者は21名、精神障害者は2名となっています。会社設立の理念は、働く意思と能力を持ちながら就職の機会に恵まれない重度障害者の職場を確保し、自立した生活が営めることを目的としたものです。

さらに「知的障害者能力開発センター」も併設し、1年間の訓練期間を経て、公共職業安定所と連携しながら阪神7市1町の各企業に就職を推進することが主たる役割となっています。

工場では、コープこうべの子会社として主に野菜の水煮パックなどの食品加工を行っており、各生産品にあわせて担当ラインごとに障害者同士がペアを組み、作業に当たっておられました。

視察の際には、加工品の入った大きなコンテナを機械操作で吊り上げて移動させているところを見学でき、少しずつ機械を微調整しながら慎重に丁寧に業務に当たっておられる姿を拝見して、参加者一同感心していました。

代表取締役社長の小田麗子さんからは、「『品質第一主義』を掲げて、なおかつ健康面に気をつけながら、これからも頑張っていきたい」とのお話が印象的でした。

ボランティア訪問記

3月8日に、みちしるべのメンバーで大阪市西区に2年前設立された「津波・高潮ステーション」を見学しました。

館内では、大阪府域の特徴について始まり、防災施設、津波対策や津波の歴史等のパネルによる説明の後、津波災害シアターで映像と音響を通して体感するという約1時間の研修内容でした。

しかし、その研修の3日後に「東北関東大地震」が発生し甚大な被害が出たほか、原発事故も重なり、ますます被害が拡大する状況になりました。研修で学んだ内容を改めて考えてみると、今回の大地震と大津波に対しては、まずほとんど学習したことは役に立たないという印象を強く感じるとともに、今後30年以内で確実に起こると予測されている「南海・東南海地震」に対してどうするのかという不安が強くなりました。

地震・津波による被災者とそのご
家族のみなさまに心よりお見舞い
申し上げます。

東北地方太平洋沖地震（東日本大震災）

3月11日午後2時46分頃、マグニチュード9.0を記録する地震が東北地方太平洋沖で発生し、停電や火災、津波などの被害が拡大しています。

この未曾有の大地震に対して、市社協災害ボランティアネットワークでは3月14日に緊急で対策会議を実施し、当面の支援策として街頭募金活動を行うことになりました。街頭募金は3月14日～19日まで毎日市内の駅前をまわり、6日間で10か所実施しました。ボランティアグループや校区福祉委員会などのご協力で、のべ360名以上の方々が募金を呼びかけてくださり、多くの方から思いやりのこもった義援金をお預かりすることができました。みなさまの温かいご支援、ご協力ありがとうございます。義援金につきましては、大阪府社協を通じて被災地へ送金いたします。

《街頭募金活動報告》 総額 3,913,455 円

3/14	豊中駅：196,752 円	
3/15	岡町駅：213,827 円	庄内駅：388,254 円
3/16	服部駅：490,892 円	千里中央：755,835 円
3/17	曽根駅：492,337 円	蛍池駅：326,591 円
3/18	豊中駅：353,210 円	桃山台駅：396,478 円
3/19	緑地公園駅：299,279 円	

●募金箱の設置●

市社協事務局・福祉の店「なかま」に募金箱を設置し、常時義援金を募集しています。引き続きご協力よろしくお願い申し上げます。

お知らせ

ボランティア保険のご案内



ボランティアセンターでは、安心してボランティア活動を行っていただけるように各種ボランティア保険の申し込みを受け付けています。

◎ボランティア・市民活動行事保険

◎移送中事故傷害保険

◎ボランティア活動保険

◎非営利・有償活動団体保険

詳細は、ボランティアセンターへお問合せいただくか、大阪府ボランティア・市民活動センターのホームページ（<http://www.osakafusyakyo.or.jp>）をご参照ください。

編集後記



がんばろう！日本！

今回の東日本大地震による被害は甚大で、必要な支援の状況も刻一刻と変化しています。被災地の要望にあった支援ができるよう市社協でも検討して参ります。被災地の一日でも早い復興を願い、みなさまにも長期にわたるご支援とご協力を心よりお願い申し上げます。